

- 問1 鎌倉時代から室町時代にかけて、有力な農民を中心に結成された自律的な村の組織を何といいますか。この組織では「寄合」と呼ばれる集会を開き、独自のルールを定めて村の運営を行いました。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 座 2. 惣 (惣村) 3. 株仲間 4. 五人組
- 問2 将軍と武士の主従関係において、将軍が武士に対して「土地の支配を認める」といった働きかけを行った際、武士がその見返りとして将軍に対して行うべき行動として最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 外国との貿易を独占し、得られた利益をすべて将軍に寄付する 2. 領地で収穫された年貢のすべてを、幕府を通さず直接天皇へ献上する 3. 戦が起きた際に軍勢を率いて参戦したり、京都や鎌倉の警備を担ったりする 4. 下の身分の者が実力で上の身分を倒し、自らが支配者の座に就く
- 問3 奈良時代初期、唐の都である長安をモデルとして大規模な都が建設されました。この事業において、壮大な規模の都を造営することによって、当時の政府が内外に示そうとした政治的な意図として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 天皇を中心とした国家の威信と国力の高さ 2. 仏教の影響を排除し、神道に基づいた祭政一致の徹底 3. 遣唐使の派遣を停止し、独自の国風文化を確立すること 4. 地方の武士団による自立的な領地支配の正当性
- 問4 2017年の統計において、日本の雇用者の約63%が正規職員・従業員であるのに対し、残りの約37%はパート、アルバイト、派遣社員、契約社員といった形態で働いています。このように、正規雇用以外の形で働く雇用形態を総称して何といいますか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 非正規雇用 2. 裁量労働制 3. 年功序列 4. 終身雇用
- 問5 和歌山県南部では、冬でも温暖な気候を利用して梅の栽培が盛んに行われています。この地域の温暖な気候をもたらす要因となっている、太平洋沿岸を北上する暖流と、地域の背後に連なる山地の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 対馬海流と中国山地 2. 黒潮 (日本海流) と中国山地 3. 親潮 (千島海流) と紀伊山地 4. 黒潮 (日本海流) と紀伊山地
- 問6 日本の農業統計において、愛知県 (作付面積5,390ha・収穫量22,800t) と滋賀県 (作付面積6,990ha・収穫量19,900t) の小麦生産を比較した際、1ヘクタール当たりの収穫量が多い県とその理由の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 滋賀県：愛知県よりも作付面積が広く、大規模な栽培を行っているため。 2. 愛知県：滋賀県よりも作付面積が狭いが、総収穫量で上回っているため。 3. 滋賀県：愛知県よりも収穫量は少ないが、作付面積が広いため。 4. 愛知県：滋賀県よりも作付面積が広く、生産効率が高いため。
- 問7 東北地方の気候と農業に関する記述として、オホーツク海付近から吹き出す風の名称と、それがもたらす影響の組み合わせが正しいものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 風の名称：フェーン / 影響：冬の積雪による交通麻痺 2. 風の名称：季節風 / 影響：台風による洪水被害 3. 風の名称：貿易風 / 影響：春の乾燥による森林火災 4. 風の名称：やませ / 影響：夏の低温による冷害
- 問8 年間降水量が1100mm未満という少雨で、かつ冬でも温暖な瀬戸内地方の気候条件を活かして盛んに行われている農業の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 湿度の低さを利用して、病害虫に弱い品種のリンゴやサクランボの栽培が平地で広く行われている。 2. 冷涼な気候とわずかな降水量を活かして、キャベツやレタスなどの高原野菜の栽培が行われている。 3. 豊富な日照時間と平坦な土地を活かし、スプリンクラーで大量の水を撒くことで大規模な稲作が行われている。 4. 水はけの良い傾斜地などを利用して、レモンやミカンなどの柑橘類の栽培が行われている。
- 問9 松平定信による「旧里帰農令」が実施された背景や内容について述べた文として、誤っているものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 年貢を納める農民を村に呼び戻すことで、幕府の財政基盤を立て直そうとした。 2. 江戸などの都市部での労働力を確保するため、農村からの出稼を積極的に勧めた。 3. 江戸に流入した人々による治安の悪化を防ぎ、都市部を安定させようとした。 4. 天明の飢饉などで荒廃した農村に労働力を戻し、農業生産を回復させようとした。
- 問10 日本国内において、米粉用米の需要量や作付面積が増加傾向にある状況を踏まえ、国がその栽培を推奨している主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 水田を有効活用することで、国内の食料自給率を向上させるため 2. 海外からの安い小麦の輸入量をさらに拡大し、国内生産を縮小するため 3. すべての水田を畑地に転換し、米作りそのものを段階的に終了させるため 4. 主食用米の生産を大幅に増やし、海外への輸出を最優先するため
- 問11 北海道東部の根釧台地において、稲作ではなく酪農が盛んに行われている理由として、その土地の自然環境について正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 広大な平坦地が広がり、大型機械を用いた大規模な小麦や大豆の栽培に特化した方が効率的であったため 2. 夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であり、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているため 3. 年間を通じて温暖で降水量が少なく、乳牛の病気を防ぐために乾燥した土地を利用する必要があったため 4. 火山灰が堆積した土地で水持ちが悪く、大規模な灌漑施設を整備して水田を開発することが困難であったため
- 問12 ある公共施設のエレベーターでは、出入口を80cm以上の広い幅に設定し、操作盤を床から100cm程度の低い位置に配置しています。さらに、車椅子の利用者が後ろ向きに降りる際に後方を確認できるよう鏡が設置されています。このような、特定の人が生活する上での「障壁」を取り除くための工夫を何といいますか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. ピクトグラム 2. ユニバーサルデザイン 3. クーリング・オフ 4. バリアフリー
- 問13 日本において「環境権」という考え方が広く主張されるようになった背景と、その性質について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 平和のうちに生存する権利を確保するため、軍備の縮小や非核三原則の法制化を求めるために提唱された。 2. 高度情報化社会の進展に伴い、個人のプライバシーな情報がみだりに公開されないよう求める権利として提唱された。 3. 高度経済成長期に深刻な公害が発生したことを受け、良好な環境を維持・回復することを求めて提唱された。 4. 行政が独占している情報の開示を求めることで、国民の主権者としての判断を助けるために提唱された。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 惣（惣村）	室町時代になると、農業技術の向上によって農民の自立が進み、自分たちで村を管理する「惣（惣村）」が作られました。彼らは「寄合（よりあい）」という会議を開き、「惣のおきて」を定めて、水利の管理や祭礼、さらには村内の警察権までもも自ら行使しました。選択肢にある「座」は商人や手工業者の団体、「五人組」は江戸時代の相互監視制度です。
問2	答え 3 戦が起きた際に軍勢を率いて参戦したり、京都や鎌倉の警備を担ったりする	将軍から領地の支配を認められる「御恩」に対し、武士は「奉公」で応える必要があります。具体的には、戦時に命をかけて戦う軍役や、平時に幕府や要所を警備する「京都大番役」「鎌倉番役」などが挙げられます。このように、土地を仲立ちとして権利の保証と義務の履行がセットになっているのが、日本の封建制の特徴です。
問3	答え 1 天皇を中心とした国家の威信と国力の高さ	710年に平城京へ遷都された背景には、律令に基づいた天皇中心の中央集権国家を確立し、その権威と国力を国内外に誇示する目的がありました。大規模な都市計画に基づいた都の造営は、当時の日本が文明国家として成熟していることを象徴する重要な国家事業でした。
問4	答え 1 非正規雇用	日本では1990年代後半から、企業が賃金コストを抑えたり景気変動に合わせて雇用を調整したりするために、正規雇用以外の働き方が増加しました。2017年時点では雇用者全体の約37%に達しており、その内訳はパート・アルバイトが26%、契約社員が5%、派遣社員が2%などとなっています。これらは正規雇用に比べて雇用の安定性や待遇面で課題を抱えることが少なくありません。
問5	答え 4 黒潮（日本海流）と紀伊山地	和歌山県南部は、低緯度から流れてくる温暖な「黒潮（日本海流）」の影響を強く受けます。さらに、北側には険しい「紀伊山地」がそびえており、冬の冷たい北風を遮る壁のような役割を果たすため、梅の開花や生育に適した温暖な気候が保たれています。
問6	答え 2 愛知県：滋賀県よりも作付面積が狭いが、総収穫量で上回っているため。	小麦の生産統計において、滋賀県は愛知県よりも作付面積が約1,600ha広い一方で、収穫量は愛知県の方が約2,900t多くなっています。1ヘクタール当たりの収穫量を算出する際、分子となる「収穫量」が大きく、分母となる「作付面積」が小さい方が、単位当たりの数値は大きくなります。したがって、この比較では愛知県の方が単位面積当たりの収穫量が多くなります。
問7	答え 4 風の名称：やませ／ 影響：夏の低温による冷害	夏にオホーツク海付近（北東方向）から東北地方へ向かって吹く冷たい風を「やませ」と呼びます。この風は太平洋側に低温と湿気をもたらし、農作物の生育を阻害する「冷害」の主な原因となります。特に冷害に弱い米作りにおいては、この現象への対策として冷害に強い品種（耐冷性品種）の開発などが進められてきました。
問8	答え 4 水はけの良い傾斜地などを利用して、レモンやミカンなどの柑橘類の栽培が行われている。	瀬戸内地方は、年間を通じて晴天の日が多く日照時間が長いこと、また冬でも温暖であるという特徴があります。この気候は柑橘類の栽培に非常に適しており、特に水はけの良い山の斜面を利用して、レモンやミカンなどの栽培が盛んに行われています。かつては少雨対策としてため池が各地に作られた歴史もありますが、気候の利点を活かした果樹栽培はこの地域の農業の大きな特色です。
問9	答え 2 江戸などの都市部での労働力を確保するため、農村からの出稼ぎを積極的に勧めた。	旧里帰農令は、出稼ぎを「勧める」ものではなく、むしろ農村からの人口流出を食い止め、都市にいたる人々を村へ「戻す」ための政策です。当時の幕府は、農業を国家の基盤としていたため、農民が都市に流出して田畑が荒れることは、年貢収入の減少に直結する重大な問題でした。そのため、農村の復興を最優先課題の一つとして掲げ、江戸へ流入した農民の帰村を支援しました。
問10	答え 1 水田を有効活用することで、国内の食料自給率を向上させるため	日本では食生活の変化により主食用米の消費が減少していますが、小麦の代用となる米粉の需要は高まっています。国は、主食用米の作付制限などで生じる余剰な水田を「米粉用米」の栽培に充てることで、水田という生産基盤を維持しつつ、低迷する食料自給率の引き上げを図る方針をとっています。
問11	答え 2 夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であり、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているため	根釧台地などの北海道東部は、夏に千島海流（親潮）の上を通る湿った空気が冷やされて「移流霧（海霧）」が発生し、日照不足と低温をもたらします。この気候は稲作には不向きですが、寒冷な気候でも育つ牧草の生産には適しています。そのため、その牧草を飼料として乳牛を育てる酪農が、地域の特色ある産業として定着しました。
問12	答え 4 バリアフリー	高齢者や障害者が社会生活を送る上で妨げとなる物理的な障壁（バリア）を除去することを指します。エレベーターの広い乗り場（奥行き150cm以上）や、車椅子の人でも手が届く低い操作盤などは、この具体的な取り組みにあたります。ユニバーサルデザインは、この考え方をさらに広げたものです。
問13	答え 3 高度経済成長期に深刻な公害が発生したことを受け、良好な環境を維持・回復することを求めて提唱された。	環境権は、1960年代の激しい公害被害から教訓を得て、国民が健やかに暮らすための環境を法的に守るために生まれました。これには、日照権（日光を享受する権利）や静穏権（騒音のない環境で過ごす権利）なども含まれ、環境アセスメント（環境影響評価）制度の導入を後押しする理論的根拠の一つにもなっています。